

第3章 地域の概況及び地域特性

3.1 調査対象地域等の設定

対象事業実施区域及びその周辺地域における自然的社会的状況に関する情報等を収集し、当該地域の地域特性の把握に努めました。自然的社会的状況に関する情報等の収集は、図 3.1-1 に示すとおり、対象事業実施区域を中心とした約 3.5km 四方の区域（以下、「調査区域」といいます）を対象として行うことを基本としました。統計データの情報収集に関しては、港南区、南区、磯子区の合計 3 区（以下、「調査対象地域」といいます）を対象としました。

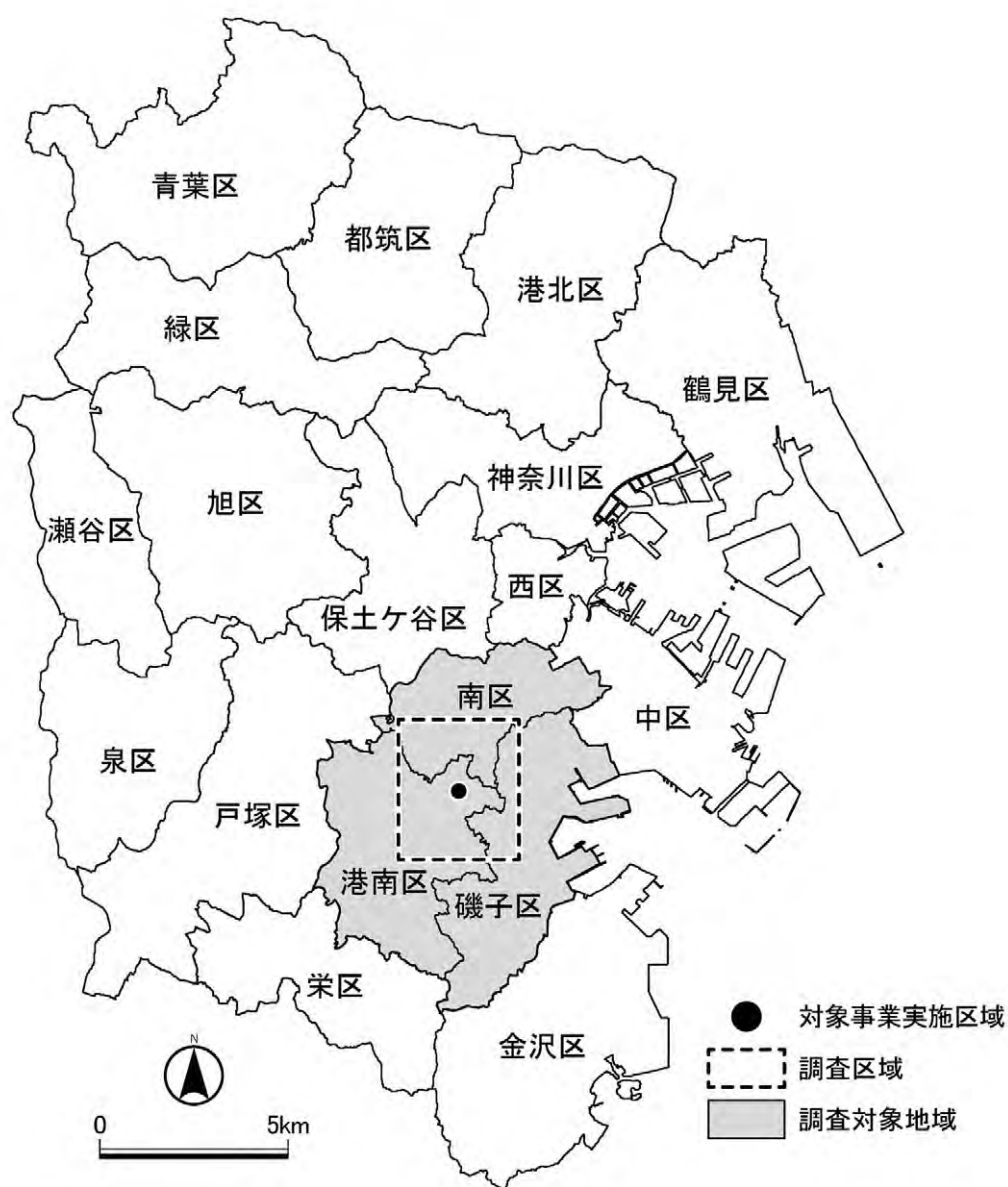


図 3.1-1 調査対象地域等の位置

3.2 地域の概況

3.2.1 気象の状況

横浜地方気象台（横浜市中区山手町：地上 19.8m）における令和 6 年の気象状況は、表 3.2-1 に示すとおりです。

令和 6 年の年平均気温は 18.0℃、年平均相対湿度 69%、年平均風速 3.5m/s、最多風向は北、年間降水総量 1,819.0mm となっています。

表 3.2-1 気象の状況（令和 6 年）

項目	年間	令和 6 年											
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平均気温 (℃)	18.0	8.0	8.5	10.1	17.0	19.9	23.1	28.8	29.3	26.9	21.0	14.4	9.0
最高気温 (℃)	37.1	17.5	24.0	26.9	27.7	28.0	33.4	37.1	36.4	34.9	31.1	23.4	18.2
最低気温 (℃)	0.6	0.8	0.6	0.9	8.3	10.2	15.8	22.7	24.4	19.1	12.2	6.0	2.2
平均相対湿度 (%)	69	52	63	57	73	73	78	77	77	79	78	66	53
平均風速 (m/s)	3.5	3.6	4.0	4.3	2.9	3.8	3.0	3.0	3.3	3.6	3.5	3.7	3.2
最多風向	北※	北	北※	北	北	南南西	南西	南西	南南東	北	北	北	北
日照時間 (h)	2,227.3	212.3	146.3	195.6	146.4	194.5	184.9	221.9	229.9	192.7	116.7	146.4	239.7
日照率 (%)	50	68	47	53	37	45	43	50	55	52	33	47	79
降水総量 (mm)	1,819.0	32.5	83.5	223.0	128.5	212.5	356.0	82.0	245.0	96.5	207.5	152.0	0.0

※：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の 80%を基準とします。

資料：「横浜地方気象台」（気象庁ホームページ、令和 7 年 9 月調べ）

「横浜市統計書[web 版]」（横浜市ホームページ、令和 7 年 9 月調べ）

3.2.2 地形、地質、地盤の状況

1) 地形

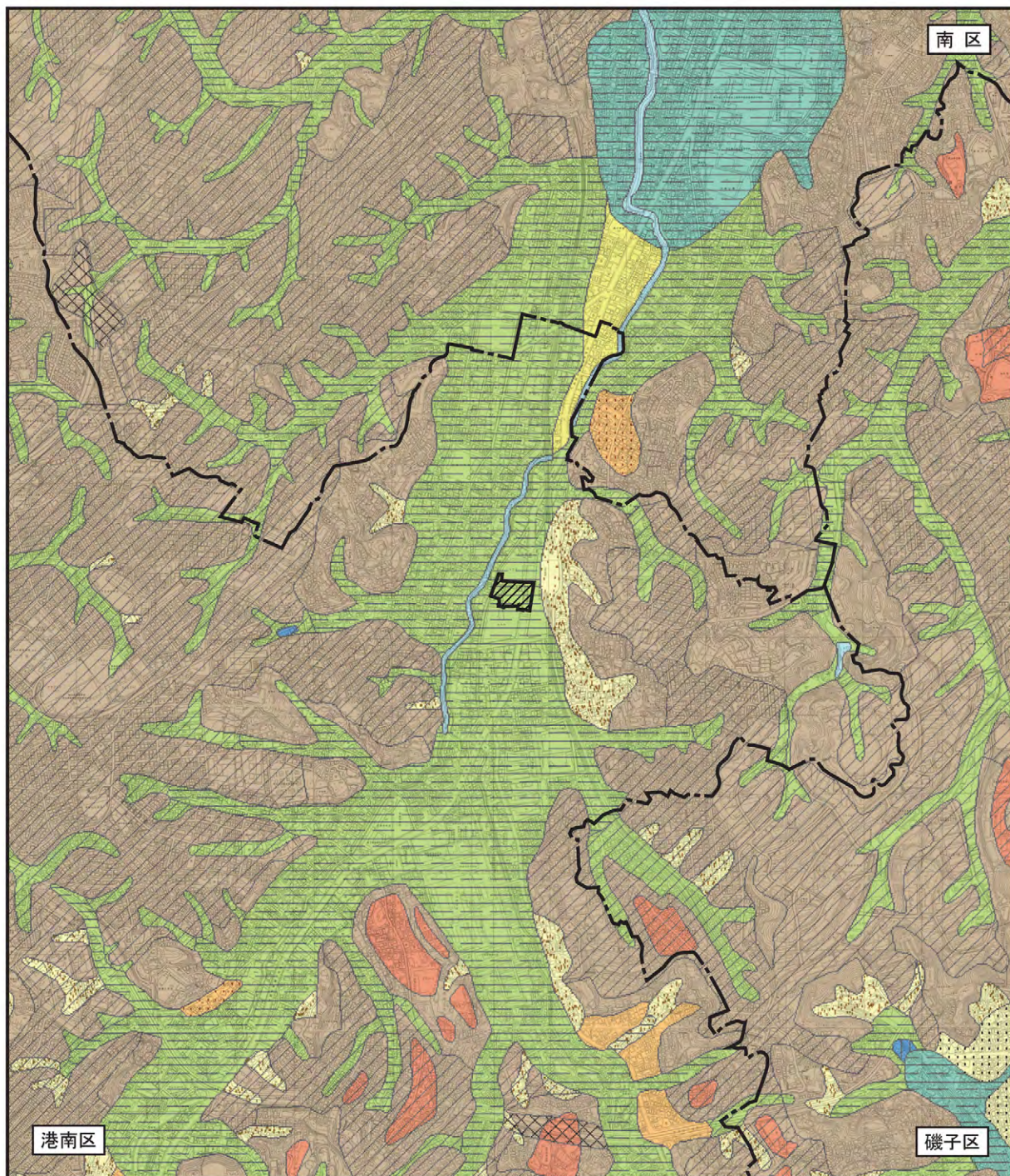
調査区域の地形の状況は、図 3.2-1 に示すとおりです。

対象事業実施区域は、人工地形分類では盛土地、自然地形分類では谷底低地に分類されます。

2) 地質

調査区域の表層地質の状況は、図 3.2-2 に示すとおりです。

対象事業実施区域が位置する場所の表層地質は未固結堆積物となっています。



凡 例

対象事業
実施区域
--- 区 界

人工地形分類
 人工平坦地
 (切り盛り造成地)宅地等
 盛土地
 埋立地
 切土地

自然地形分類
 山地斜面等
 麓斜面及び崖錐
 砂礫台地(更新世段丘)
 砂礫台地(完新世段丘)
 ローム台地(更新世段丘)

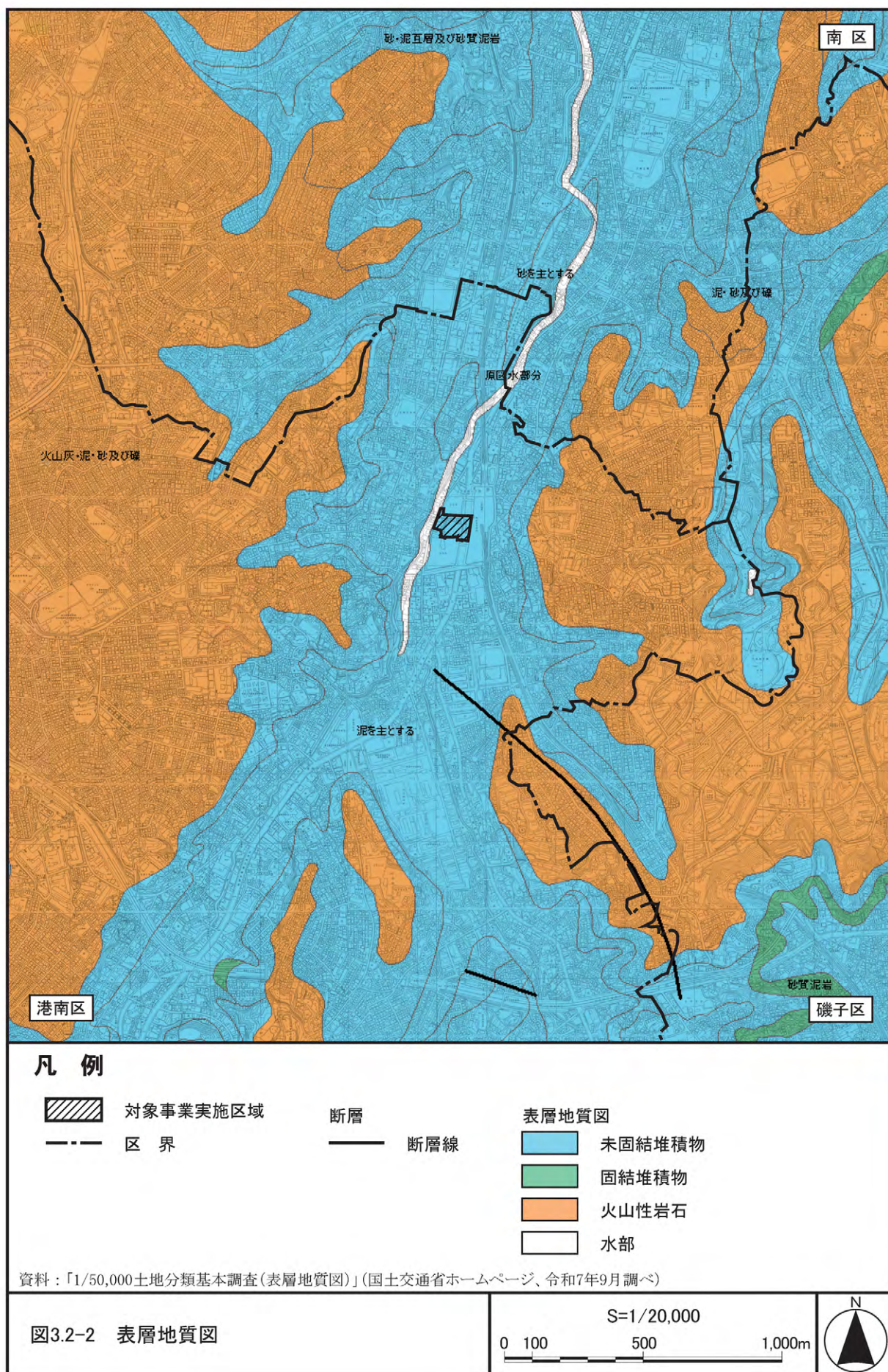
谷底低地
 自然堤防
 三角州・海岸低地
 砂州・砂堆(礫州・礫堆)
 現水部
 旧水部

資料：「土地履歴調査データ(人工地形及び自然地形分類図)」(国土交通省ホームページ、令和7年9月調べ)

図3.2-1 地形分類図

S=1/20,000
 0 100 500 1,000m





3) 地盤・土壌

調査区域の土壌の状況は図 3.2-3 に、軟弱地盤の分布状況は図 3.2-4 に示すとおりです。

対象事業実施区域が位置する場所の土壌は人工改変地土であり、層厚 5～20m程度の軟弱地盤が存在するとされています。

なお、表 3.2-2 に示すとおり、平成 20 年に対象事業実施区域西側約 20mの地点において横浜市によるボーリング調査が実施されており、N 値は地盤面から深度約 2.15～12.45mで 1～7、深度約 13.15～18.15mで 75～167 となっています。



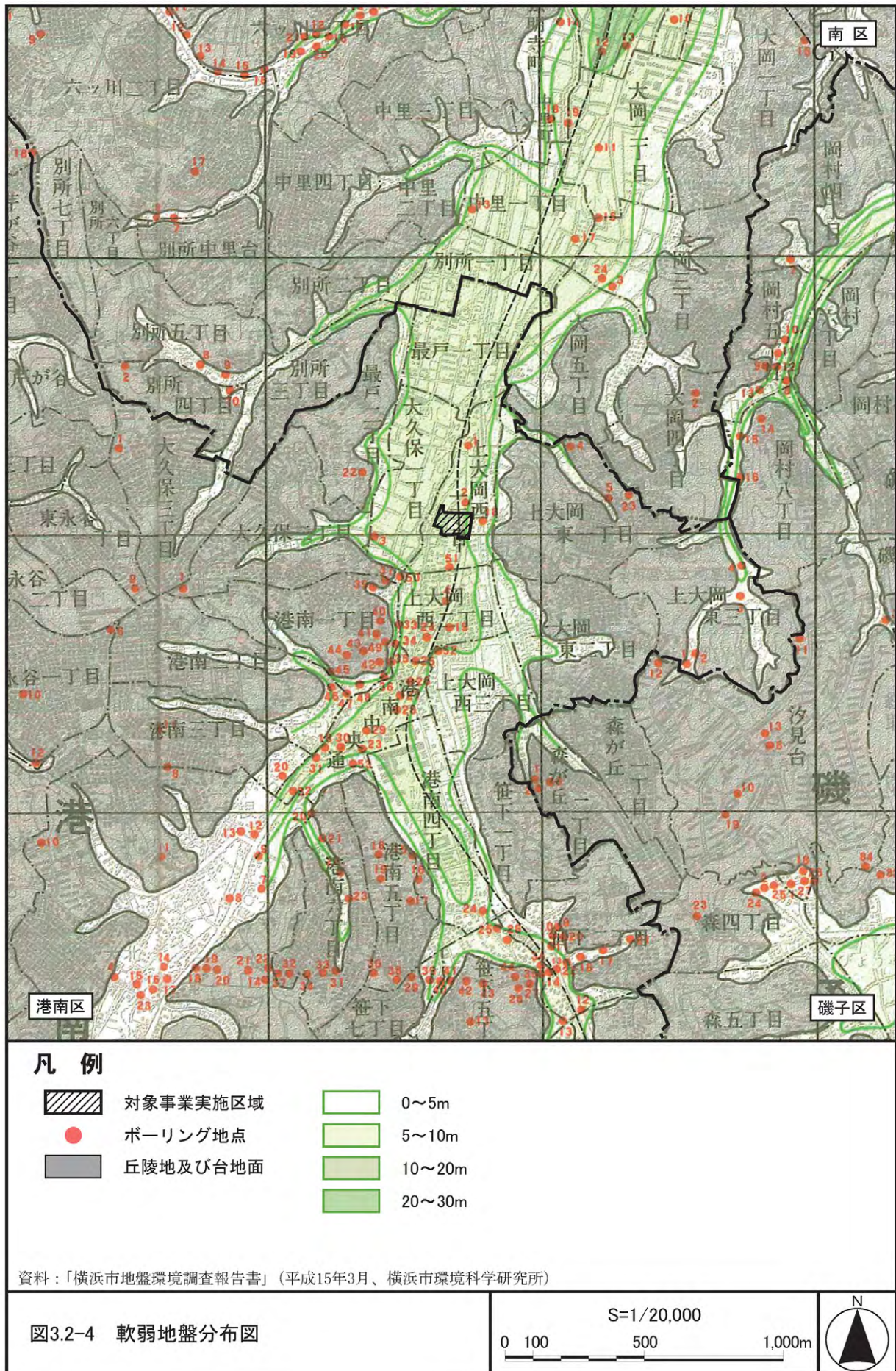
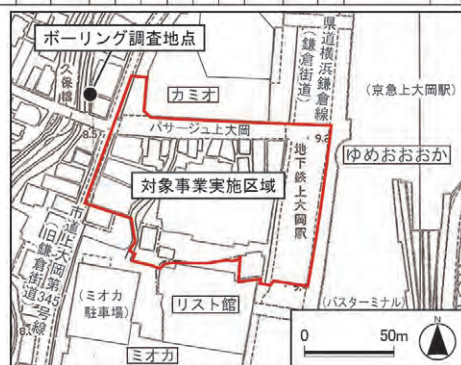
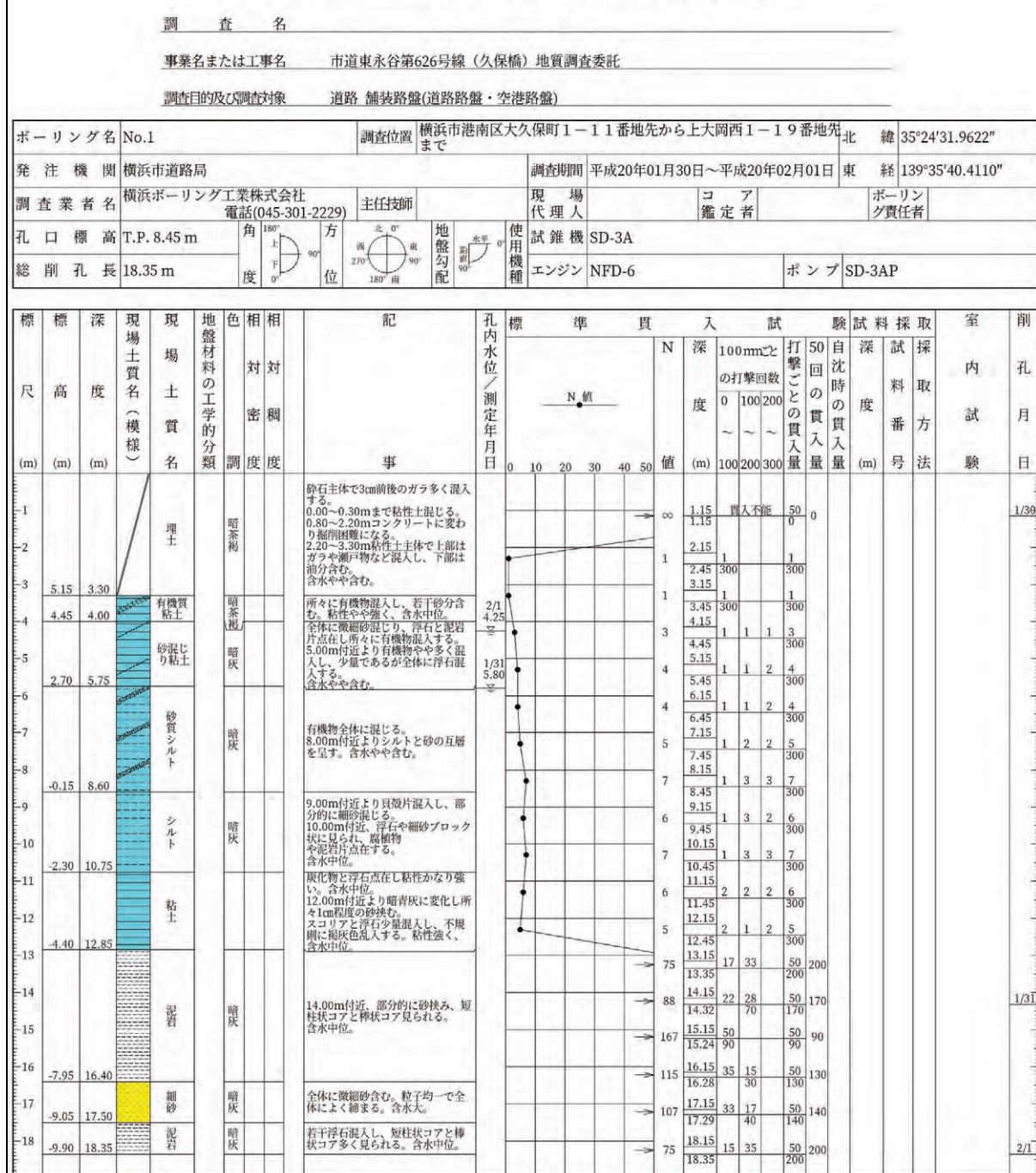


表 3.2-2 既存ボーリング調査結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）



資料：「国土地盤情報データベース」（一般財団法人国土地盤情報センターホームページ、令和7年9月調べ）

3.2.3 水循環の状況

調査区域における主な河川の状況は、表 3.2-3 及び図 3.2-5 に示すとおりです。

対象事業実施区域の南側から北側へ二級河川の大岡川が流れており、大岡川には日野川が流入しています。

また、大岡川の治水対策として、大岡川分水路が設けられています。

表 3.2-3 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長 (m)	管理
二級河川	大岡川	大岡川	10,540	神奈川県知事管理
		日野川	1,900	
		大岡川分水路	3,640	
準用河川	大岡川	日野川	970	横浜市長管理

資料：「横浜市を流れる河川一覧」（横浜市下水道河川局ホームページ、令和 7 年 9 月調べ）

